

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

相楽東部広域連合

事業名

授業改善アドバイザー事業

事業の経過・背景・課題

教職経験年数の少ない教職員の増加による学校現場全体の指導力の低下や、児童生徒に「変化の激しい社会を生きていくための力」をつけていくために必要なこれからの教育における指導方法の確立、教授法（教え方・学び方）に対する教職員の考え方の転換が課題となっていることから、教職員の自己研鑽とアクティブ・ラーニングの手法を学べる環境づくりが必要である。

指導力向上に向けて研修等を実施するための時間的余裕を、学校独自で生み出すことは困難であり、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、児童生徒に生きる力をつけるためにも、教職員の指導力を向上させ、児童生徒に関わる時間的な余裕を生み出す施策を教育委員会と学校現場が連携して取り組む必要がある。

取組内容

交付実績額： 381 千円

- ・学校現場における教職員の課題意識をもとに、委託する授業改善アドバイザーによる授業改善に向けたコンテンツを教職員がオンラインで視聴し、スプレッドシートを活用して、アドバイザーから指導・助言を受ける

【実施スケジュール】

令和5年5月：授業改善アドバイザーによる現地視察・指導
授業改善に向けてのコンテンツ配信開始

8月：夏休みを利用した集合型研修の実施

- ※年間を通して、「共通の課題意識をもつ教職員」や「経験年数が近い教職員」など様々なグルーピングを行い、オンラインでのグループ研修・コンテンツの配信



▶グループ研修の様子



▶集合研修の様子

事業の成果・今後の展望等

学校教育の中で「連合の子どもにはぐくみたい力」を育て、支えることのできる指導方法を教職員が学ぶことができた。本事業を通して、教師による一斉授業から、子ども中心の授業に変えていくことが必要であると、教職員自身の意識改革が進み、授業スタイルに変化が現れ始めている。

今後は、取り入れている手法の理念・理論への教職員の理解をさらに深めていくとともに、学習者である児童生徒においても、「テストの点が高い＝価値がある」、「試合に勝つ＝自分によく頑張った。」という結果のみを評価するのではなく、自分自身の学びのプロセスを正当に評価するなどの「価値」の転換や、次への行動を生み出すことができるような感覚を磨き・感じることができるよう意識改革を行う。

※「連合の子どもにはぐくみたい力」・・・主体的に学び考える力、多様な人とつながる力、新たな価値を生み出す力

問い合わせ先

相楽東部広域連合教育委員会学校教育課（0774-78-4335）